

I 男女共同参画の推進に向けた社会づくり

	意見	区分	反映状況	内容	担当課
1 男女共同参画への理解の促進	家父長制度、固定的な役割意識	課題	反映済	P2 男女共同参画社会を実現していく上で、人々の意識の中に形成された性別に基づく固定的な役割分担※1意識、性差に関する偏見の解消や人権尊重を基盤とした男女平等の意識づくりなどが大きな課題となっており、一人一人が暮らしやすくなるものであることを理解し、意識改革を図っていくことが重要です。	環境生活課
	世代の考え方の違いを押し付けないようにしてほしい。世代間の差が男女の考え方に影響を与えている	課題	反映	P2 また性別、年代により意識差に違いがあり、(男女共同参画を一層進めていくためには、あらゆる人を対象に、様々な場面で、男女共同参画に関する理解を深め、定着させるための広報・啓発活動を継続して展開していく必要があります。)	環境生活課
	生まれた時からの性差別、根本的な意識の問題 →生まれた時からの意識改革が必要 生まれた時から「男だから」「女だから」という意識を刷り込まれている。これをいかに変えていくかが課題	課題	反映済	P2 男女いずれにも幼少の頃から長年にわたり形成された性差に関する偏見・固定観念や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)※4があり、自身の思い込みに気づくことも重要です。	環境生活課
	若い世代への啓発を進めるとともに、高齢世代への助言や考える機会を設けることも大切	課題 施策	反映		環境生活課
	親の意識が変わらなければ、子の意識も変わらない。子が変わらなければ、孫も変わらない	課題 施策	反映	P4 広報誌や情報誌、ホームページ、広報無線等を活用して、男女共同参画に関する広報啓発を実施します。	環境生活課 生涯学習課 こども課
	進学や就職も男女によって分かれてきた現状がある	課題 施策	反映		商工観光課 環境生活課
	若い世代からの地道な啓発に効果がある、もっとPRしてもよいのでは →広報等でのちょっとした啓発(難しい内容) →小学生でもわかるイメージ、内容を伝えたい	施策	反映	P4 広報誌や情報誌、ホームページ、広報無線等を活用して、男女共同参画に関する広報啓発を実施します。	環境生活課
	男女平等ならわかりやすいが共同参画というとなかなか難しい、もっと柔らかな表現・啓発ができるとよい →男女共同参画という言葉が見える啓発 →啓発強化月間では広報無線放送を	施策	反映	P4 男女共同参画週間や女性の暴力防止週間などを広報無線で啓発する。	環境生活課
	うちのお父さんのお弁当など当たり前になるように →安全安心メールでの意識啓発を	施策	一部反映	P4 男女共同参画週間や女性の暴力防止週間などを広報無線で啓発する。 安全安心メールでの啓発は、難しい。	環境生活課
	講演会の開催	施策	反映	P4 講演会等を開催し、啓発に努めます。	環境生活課
	中学生を対象としてキャリア教育による意識変化(男女で仕事を分けない)も必要である	施策	反映	P4 児童生徒等の発達段階に応じて、授業等で取り上げ、計画的に指導します。	こども教育課
	男女の年代別の意識の把握	課題 施策	反映済	P4 男女共同参画に関する実態や意識調査を実施します。	環境生活課

I 男女共同参画の推進に向けた社会づくり

	意見	区分	反映状況	内容	担当課
1 男女共同参画への理解の促進	男女で子育ての意識浸透	課題 施策	反映済	P4 これまでの男性の仕事中心の生き方や家事・育児・介護等の女性への偏重の見直し、多様な生き方・働き方について啓発を進めます。	環境生活課 こども課 生涯学習課
	家事を手伝う男性の増加と意識の変化 ※分業は未だ残ってはいる...	課題 施策	反映済		環境生活課
	「男女共同参画」なのに「男女」のように、最初に「男」が来るのはおかしい。両性が平等であるという意味の言葉を当てはめるべき	意見	一部反映	計画本文中の見直しを行う。	環境生活課
	啓発が一番の課題。「男女共同参画」が柔らかいイメージで多くの人に伝わっていくべき	意見	検討	今後の啓発活動において、意見を反映した取組を実施する。	環境生活課
	スウェーデンでは制度整備等含め国からの補助がある。海外にも目を向け、良い制度は取り入れるくらい先進的な取組みがあっても良いのではないか	施策	検討		各課
	男性も育児参加など良い変化がみられる、地道な啓発の効果	意見			
	国の本気度、政治家の意識変化、制度の罰則化	意見			
2 政策・方針決定過程への女性の参画拡大					
3 地域における男女共同参画の推進	地域組織では長と名の付くものは男性になっている	課題	反映済	P7 市内184の自治会長における女性の割合は、1.6%(令和3年度)となっており、全国市町村平均(6.1%)と比較しても低く、地域活動で女性が果たしている役割に比べ、役員への女性の参画が極端に少ない状況にあります。	環境生活課 企画定住課
	地域の事業に女性の意見が出ないのは問題	課題	反映済		環境生活課 企画定住課
	クラブ活動などは女性が主体、活躍	現状	反映済		環境生活課
	地区役員が世帯主となっている	課題	反映しない		環境生活課 企画定住課

Ⅱ 女性が活躍できる基盤づくり(糸魚川市女性の活躍推進計画)

	意見	区分	反映状況	内容	担当課
1 雇用等における男女平等の推進	男女平等の組織づくりが平準化	課題 施策	反映済	P11	商工観光課
	認定制度の取得促進(えるぼし・くるみん等)	課題 施策	反映済	P11 男女共同参画の推進に積極的に取り組む企業に対しては、インセンティブ※8の付与や公共調達を通じて取組の後押しが必要です。	商工観光課
	青年会議所の構成員 男性8割 女性2割 全国的に見ても企業の跡継ぎで多いのは「男性」。「女性のリーダー」がなかなか育たない状況がある	現状	具体的 なので、 反映しな い	P13に働く場における意思決定の場への女性の参画状況に類似事項記載	商工観光課
	男女の体力差は必ずあるが、今は機械などの代替手段により、体力面に関係なく仕事ができるようになってきている	現状	反映	P15 職種に対するこれまでの概念を取り払い、各人の能力、適性に応じた業務配置により、多様な職域での女性の活躍が期待されています。また、並行して、ITや機械の導入、やり方の工夫など女性が働きやすい環境を模索し、ハード面における環境整備も必要です。	商工観光課
	技能職(現場に出る女性)の女性の確保	課題 施策	反映	P15 また、並行して、ITや機械の導入、やり方の工夫など女性が働きやすい環境を模索し、ハード面における環境整備も必要です。	商工観光課
	3Kのイメージ解消、社員教育、会社のフォロー 企業側も努力して「子育て・介護等と仕事のバランス」「自然豊かな子育て環境を選んで移住できる選択肢」「3Kの払拭や快適に仕事ができる職場環境」を作っている	課題 施策	反映		商工観光課
	女性の職場環境の改善(トイレ、休憩所の設置等)に市内企業が積極的に取り組んでいる(職場の先輩職員の努力により、建設現場や組織内に女性がいることが当たり前の意識づくり・仕組づくり進んでいる)	課題 施策	反映		商工観光課
	テレワークにより男女関係なく移住が可能になった	課題	反映	P15 再就職や起業など、ライフステージや個別の事情等に対応した支援や、テレワークなどの時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の推進も求められています。	商工観光課
	女性を中心としたイベントの企画	課題 施策	検討		商工観光課
2 働き方の見直しと仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	子育てにおける休みやすい環境整備、意識改革	課題	反映済	P11 男女共同参画の推進に積極的に取り組む企業に対しては、インセンティブ※8の付与や公共調達を通じて取組の後押しが必要です。	商工観光課
	公務員は子育て休暇制度が整備されてきているが、企業の中では整備が進んでいない状況もある。整備を進めている企業に対して市独自の補助があれば、男女平等に子育て・家事に関わっていただけるのではないか	施策	反映済		商工観光課

Ⅱ 女性が活躍できる基盤づくり(糸魚川市女性の活躍推進計画)

	意見	区分	反映状況	内容	担当課
2 働き方の見直しと仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	企業の半日・時間休暇の導入	施策	反映済	P11 男女共同参画の推進に積極的に取り組む企業に対しては、インセンティブ※8の付与や公共調達を通じて取組の後押しが必要です。	商工観光課
	働く側の意識改革と社会参画 ※生活費を満たすだけでない	課題	反映	P13 将来の目標やビジョンを持ち、自己のキャリアアップに積極的に取り組む女性への適切な評価基準を定め、その承認をもって、個々の意識の向上を図るとともに、雇用・就労の場における女性活躍に向けた礎の構築が必要です。	商工観光課
	生活費を満たすだけではなく、承認欲求も満たすためには、上司のマネジメントが必要	課題	反映		商工観光課
	働き方改革は「個人の意識」。ただ生活費を稼ぐためではなく、自分自身も社会参画し、働くことにやりがいを見出していくことが大切。指示を出すリーダー側も抽象的な指示ではなく、具体的な指示を出して部下の積極的な行動を促すマネジメントを実施することで、ワーク・ライフ・バランスの向上が見込める	課題	反映		商工観光課
	女性がリーダーになることを望まないというアンケート結果も出ているが、これは男女関係なく個人の人格や同僚・部下を思う気持ちにより、女性リーダーの社会参画に結びついていくのではないか	課題	反映		商工観光課
	多様な働き方(テレワーク)への意識を把握	課題	反映		P15 再就職や起業など、ライフステージや個別の事情等に対応した支援や、テレワークなどの時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の推進も求められています。
	多様な働き方(テレワーク等)が進められている一方で、夫の扶養に入られる範囲で働こうとする人がいるなど、積極的に自ら働こうという意識がない人もいる	課題	具体的なので、反映不可		商工観光課
	自然豊かな子育て環境を選んで移住を選択 →テレワーク推進	施策	反映	P16 多様な働き方の実現に向け、時間や場所にとらわれない就労環境を整備します。	商工観光課 企画定住課
	子育て・介護等と仕事の調和	課題	反映済	P17	商工観光課
	男性の育休の取得促進	課題	反映	P17 新潟県における令和2年度に育児休業制度を利用した女性労働者の割合は90.9%であったことに対し、男性労働者では12.8%に留まっていることから、男性が家事・育児を担い、その後も主体的に子育てに関わるよう、制度活用に対する抜本的な対策が必要となっています。	商工観光課
	職場によって男性は子育てで休みにくい	課題	反映		商工観光課
	育休の無給から有給化へ ※隠れ育休の解消	施策	反映済	P19	商工観光課
	市役所内でも育休取得は少ないが意識の変化は出てきている	現状説明			総務課

Ⅱ 女性が活躍できる基盤づくり(糸魚川市女性の活躍推進計画)

	意見	区分	反映状況	内容	担当課
2 働き方の見直しと仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	お父さんと子ども向けの事業を実施し、子育てに関わる男性の意識変化を図る	施策	反映	P20	生涯学習課
	学校後行事など男性が主体的に参加してほしい →休暇制度の充実	意見	反映済	R19	商工観光課
	行政職員のやりがいと可視化	課題	検討	実施方法について今後検討	総務課

Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり

	意見	区分	反映状況	内容	担当課
1 あらゆる暴力の根絶 (糸魚川市DV防止計画)	DVは家庭内で発生し、非常に閉鎖的で、女性が我慢する傾向が多く、別れた場合の経済的な問題などもあり、表面に出てきにくく、相談することも難しい。それが当たり前だと思われてしまうとなおさら解決への道が遠のく。いかにそこを切り崩していくかが問題である	課題	反映済	P23	福祉事務所
	そういうものだと洗脳されている	現状	反映		福祉事務所
	DVに気づいてもらう、相談につながる事が重要	課題 施策	反映	P23 相談窓口の利用について、被害者だけで悩むことなく早期に適切な相談や支援が受けられるよう、広く周知することが必要です。本市では、女性相談員等においてDV相談を実施しています。DV被害者が安心して相談できるよう相談窓口の安全を確保し、関係機関との連携、外国人や障がいのある被害者への配慮など多様化・複雑化する相談に対応できるよう、体制を強化していく必要があります。	福祉事務所
	相談先がわからない、我慢している女性もいる	課題 施策	反映済		福祉事務所
	まずは女性相談室の周知・拡充が課題	課題 施策	反映済		環境生活課
	やってはいけないことを小さい時からしっかり教えていく必要がある →またDVを受けたら相談するという意識を刷り込むことも大切ではないか	課題 施策	反映済		P26 若年層への教育・啓発を推進するため、学校等における人権教育を実施するほか、暴力によらない対等な関係作りについて、中学校からのデートDV防止セミナー等の啓発事業を行います。
	アルコール依存症による暴力	課題 施策	反映しない	複数の要因が考えられるため国の第5次計画にも明記されていない。	福祉事務所
	加害者男性への教育 →SNSの進化による影響も要因のひとつ	施策	反映済	施策については警察、法務省での取り組み状況により検討する	福祉事務所
	いつでも相談できる体制がないと相談しにくい →タイムリーな相談体制の検討	課題 施策	検討		福祉事務所
	相談を吸い上げる手段を考えてほしい(利用しやすい体制づくり) →自己申告は少ないので周りがすいあげる体制を	課題 施策	検討		福祉事務所
◎相談窓口の周知拡充と問題をいかに吸い上げるか →相談を受けた人が一歩進んだ次につなげられる対応ができるための相談窓口	課題 施策	検討		福祉事務所	
2 困難を抱えた人が安心して暮らせる環境の整備					
3 生涯を通じた健康支援					